システムキッチン
標準設置マニュアル

JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH
キッチン・バス工業会

キッチン技術委員会

標準設置マニュアル策定　ＷＧ

目　次

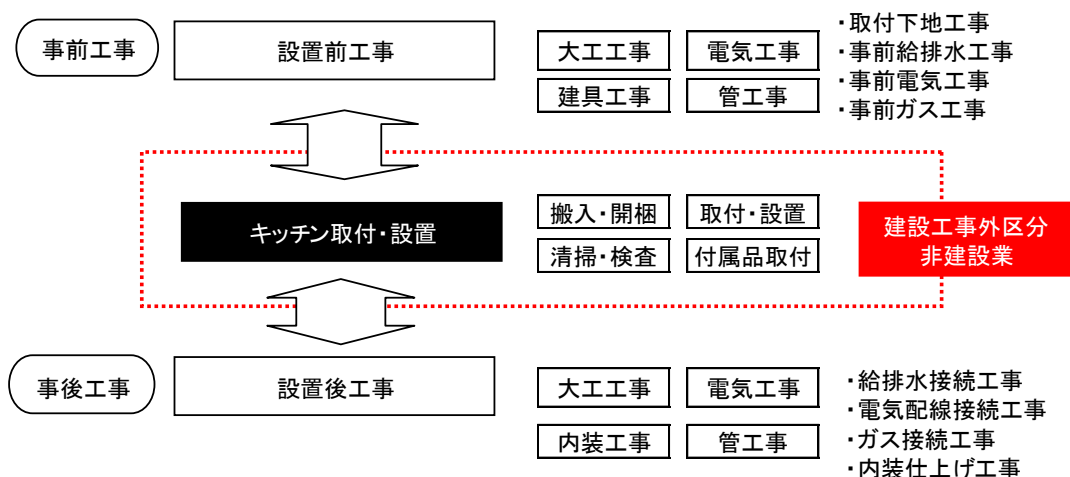
1　はじめに

（1）　システムキッチン取付・設置について

生活者にとっての住宅性能・品質は、住空間における利用品質（ユーザビリティー）として使い勝手のよさ、快適性、安全性が問われてきます。中でも常に誰かが使用するキッチン空間は、キッチン設備を中心に収納・設備機器等で構成され、快適性、安全性はもとより機能性や作業性が問われ、またダイニング・リビングとのバランスが要求されます。

一方、そのためシステムキッチンの取付・設置に対する品質は、大切な要素となります。また、システムキッチンの取付・設置は、関連工事（建設工事）である大工工事、電気工事管工事、建具工事、内装工事などとは区分されます。それぞれが一体となって
はじめて良質なシステムキッチンとなります。

本書では、システムキッチン取付・設置においての手順や注意点を記載しています。
取付・設置に携わる方だけではなく、システムキッチンの製造・販売の関係業務に
携わる方々にも、ご活用いただけたらと考えます。

■システムキッチンの取付・設置と工事区分

< 改正建設業法(2008 年 11 月 28 日施行)に基づく、建設業種の区分による工事種類 >

2　取付・設置の心得

（1）取付・設置にあたって

取付・設置にあたっては、不適切な作業による事故が生じないよう、事前に購入された商品に添付された取付・設置説明書、安全上の注意事項をよく読み正しく取付・設置を行ってください。

取付・設置の前後に行われる関連工事（建設工事）である、大工工事、電気工事、管工事、建具工事、内装工事は、有資格者が行うことになっております。関連する法令、規定に従ってください。

（2）安全に関する注意

1）表示について

商品に添付された取付・設置説明書には、商品を安全に正しく取付・設置し、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、下記の表示をしています。いずれも、安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。

① 表示　（例示）

■表示内容を無視して誤った工事をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 危険	この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことがあり、かつその切迫の度合いが高い危害の程度」をいう。
⚠ 警告	この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」をいう。
⚠ 注意	この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

■お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。

⃠	このような図記号は、製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。
⚠	このような図記号は、製品の取扱いにおいて、注意を喚起するための図記号です。
❗	このような図記号は、製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。

⚠警告

ステンレス製ワークトップやシンクを取扱うときは、必ず保護手袋を着用する。
切断面にさわると、ケガをするおそれがあります。
キッチン取付・設置

ウォールキャビネットの設置は、建築壁の構造を確かめて正しく取付ける。
ウォールキャビネットが落下して、ケガをするおそれがあります。
大工工事（取付下地）　キッチン取付・設置

フロアキャビネットの設置は、建築床の構造を確かめて正しく取付ける。
床がたわんだり、床が損傷するおそれがあります。

電気工事・管工事は、関連する法令、規定に従って、必ず「有資格者」がおこなう。
火災、感電、ガス漏れ、水漏れの原因になることがあります。

建設工事（電気工事、管工事、大工工事、建具工事）は、関連する法令、規定に従って必ず「有資格者」がおこなう。
守らない場合は、法令に違反します。

⚠注意

トールキャビネットは必ず壁面に固定する。
転倒してケガをするおそれがあります。

側板を設置するときは、棚受を隙間のないよう根本まで確実に差し込む。
棚板がはずれ収納物が落下して、ケガをするおそれがあります。

配水器具・排水ホースの取付けおよび給排水管の接続部分のシールは、説明書どおり正しくおこなう。
水が漏れたり、湿気が上がり床などが腐るおそれがあります。
不快な臭いや、カビの発生原因になることがあります。
管工事

排水ホースはU字型に曲げたり、折曲げて取付けない。
排水能力が低下してシンクから水があふれ、床を汚すおそれがあります。
管工事

工事完了後は、扉の傾き、ガタつき、蝶番のゆるみのないことを必ず確認する。
使用中に扉が落下して、ケガをするおそれがあります。

組込まれる電気機器・調理機器・レンジフード・その他機器については、それぞれの施工（取付・設置）説明書および製品本体の表示事項を守り、正しく設置する。
思わぬ事故や故障の原因となることがあります。
電気工事　キッチン取付・設置

水栓の取付けは必ず施工（取付・設置）説明書および製品本体の表示事項を守り、正しく設置する。
水やお湯が漏れ、床を汚したり損害が出るおそれがあります。
管工事　キッチン取付・設置

キャビネットを設置する際には水平・垂直のレベルを出す。
キッチン取付・設置

取付け・仕上げに使われる、溶剤、接着剤、洗剤、その他薬品類については、記載されている注意事項に従って、正しく使用する。
誤った使い方をすると、人体に影響が出たり、使用部材の損傷や、劣化の原因になります。
キッチン取付・設置

（３）取付・設置に際してのマナー

作業にあたっては、現場でのマナーが第一歩となります。近隣への心配り、作業中の身だしなみや態度は、良質なシステムキッチンに対する信頼性を一層高めます。

１）身だしなみはきちんとしていますか。
いつも清潔な作業服を着用し、名札を付けましょう。安全のためにヘルメットの着用をおすすめします。また、専用の上履きを使用してください。

２）現場はきちんと整理整頓・清掃されていますか。
整理整頓・清掃の実施は仕事の効率をあげるばかりでなく、事故防止にもなります。
現場内での飲食や喫煙の規制については、建築現場管理者の指示に従ってください。
空き缶、弁当の空き箱などのゴミは、持ち帰ることを原則としてください。

３）時間管理を、お客様が気にしているのをご存知ですか。
作業開始前に当日の予定（開始、休憩、昼食、終了の予定時刻）を必ず、お客様ならびに建築現場管理者に伝えてください。

４）あいさつはできていますか。
現場搬入の際には、お客様ならびに他の工事業者の方々に必ずあいさつをしましょう。
また、近隣の方々にも同様にあいさつをしましょう。
昼食時、あるいは作業終了時についても退場の際はあいさつを忘れないようにしましょう。

５）携帯電話のマナーは守っていますか。
マナーモードの使用や、通話時においての、周りの方々（お客様や他の工事業者）への配慮等、基本的なマナーは守ってください。

６）正しい駐車をしていますか。
決められた場所に駐車をしましょう。

３　取付・設置打ち合わせ

（１）　図面及び指示書の確認

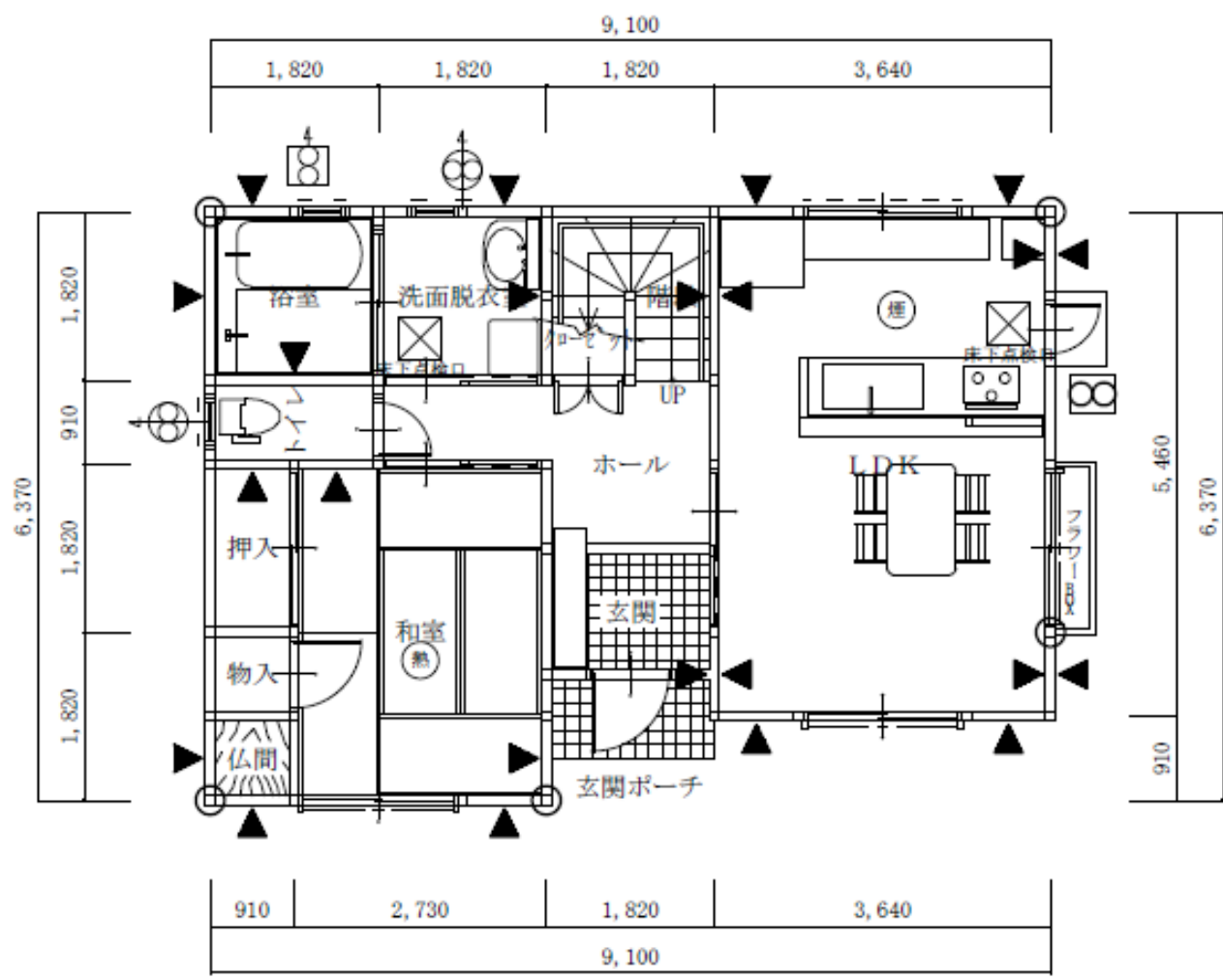
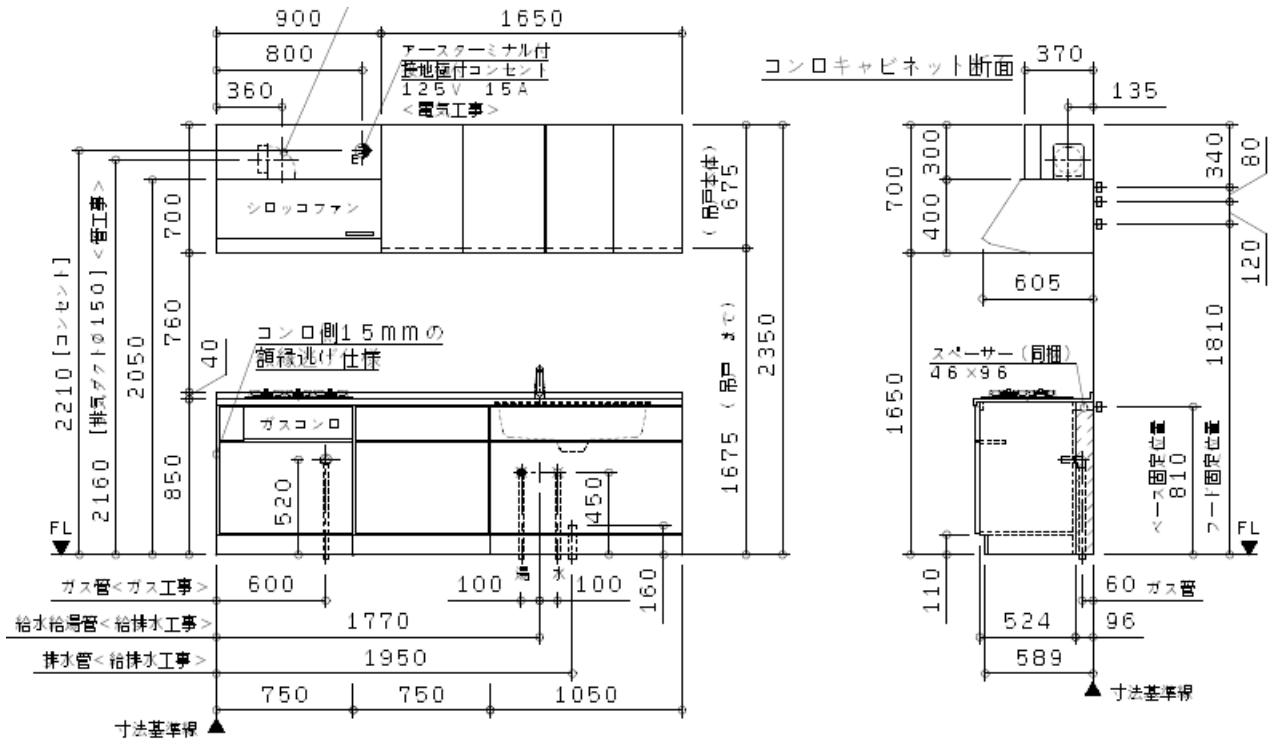
建築平面図、キッチン設備図、商品明細表等を確認します。

商品情報と現場の状況とを照らし合わせて、不都合がないか精査し、必要寸法の確保、吊戸棚の取付下地寸法、調理機器・レンジフード取付部の不燃仕様及び電気・設備工事の位置だし、内装仕上げの仕様を確認してください。

事前工事に問題があるようでしたら、建築現場管理者にその旨を伝え、修正を求めてください。

打ち合わせの内容を踏まえ、取付・設置前に、現場の確認を行うことになります。「４　事前現場チェック」を参照してください。

① 建築平面図（例示）

9, 100
1, 820
1, 820
1, 820
3, 640
浴室
洗面脱衣
階段
クローゼット
UP
トイレ
ホール
LDK
押入
和室
玄関
物入
仏間
玄関ポーチ
床下点検口
フラワーBOX
1, 820
910
1, 820
1, 820
6, 370
5, 460
910
6, 370
910
2, 730
1, 820
3, 640
9, 100

②キッチン設備図（例示）

③商品明細表　（例示）

商品明細（内訳）書

様

見積番号　10450976－11237
図面番号　10450976－11750

番号	機種名	機能	品番	商品寸法(W. D. H)			数量	単価	金額	備考
1	ワークトップ	Kシンク		2700	650	22	1			
2	フロアキャビネット	ガス用・フロアコンテナ		750	640	830	1			
3	調理機器	内炎バーナーコンロ		750	538	220	1			
4	フロアキャビネット	フロアコンテナ・2段引き出し		600	640	830	1			
5	フロアキャビネット	シンク用・フロアコンテナ		900	640	830	1			
6	フロアキャビネット	フロアコンテナ・フルオープン食洗機用		450	640	830	1			
7	食器洗浄機器	食器洗浄乾燥機		450	550	550	1			
8	サイド化粧板	ベースキャビネット用		18	660	900	1			
9	換気機器	レンジフード		900	625	398	1			
10	換気機器対応部品	幕板取付けフレーム		900	30	600	1			
11	付属パーツ	機器用パネル		900	20	496	1			
12	ウォールキャビネット	ミドル吊戸棚・不燃		450	375	700	1			
13	オートムーブシステム	電動昇降式		1350	375	700	1			
14	サイド化粧板	ミドル吊戸棚用		15	390	700	1			
15	水栓金具	ハンドシャワー		750	640	830	1			
16	サイド化粧板	収納庫用		15	660	2420	1			
17	冷蔵機器	大型冷凍冷蔵庫		739	650	1746	1			
18	付属パーツ	機器用パネル		723	80	423	1			
19	サイド化粧板	収納庫用		15	660	2420	1			
20	カウンタートップ	片面フロアカウンター用(奥行45cm)		900	450	20	1			
21	フロアキャビネット	片面フロアキャビネット(奥行44cm)		900	440	830	1			
22	ウォールキャビネット	ロング吊戸棚		900	375	900	1			
23	幕板	天井幕板		1800	17	200	2			
24	ウォールキャビネット	冷蔵庫上台		750	640	610	1			
25	トールキャビネット	片面カップボード下台		900	440	806	1			

（２） 取付・設置と工事区分の確認

事前に、工事区分表、工事工程表などで、工事の区分、工程を確認しておく必要があります。また、決定した内容は書面にして取り交わしておきます。

キッチン取付・設置に関係する事前工事、事後工事は、以下のとおりです。事前工事では、取付下地工事等の大工工事、給排水工事等の管工事、配線等の電気工事、ガス工事が行われ、事後工事では、電気配線接続、電気設備付等の電気工事、給排水接続工事等の管工事、ガス接続工事が行われます。

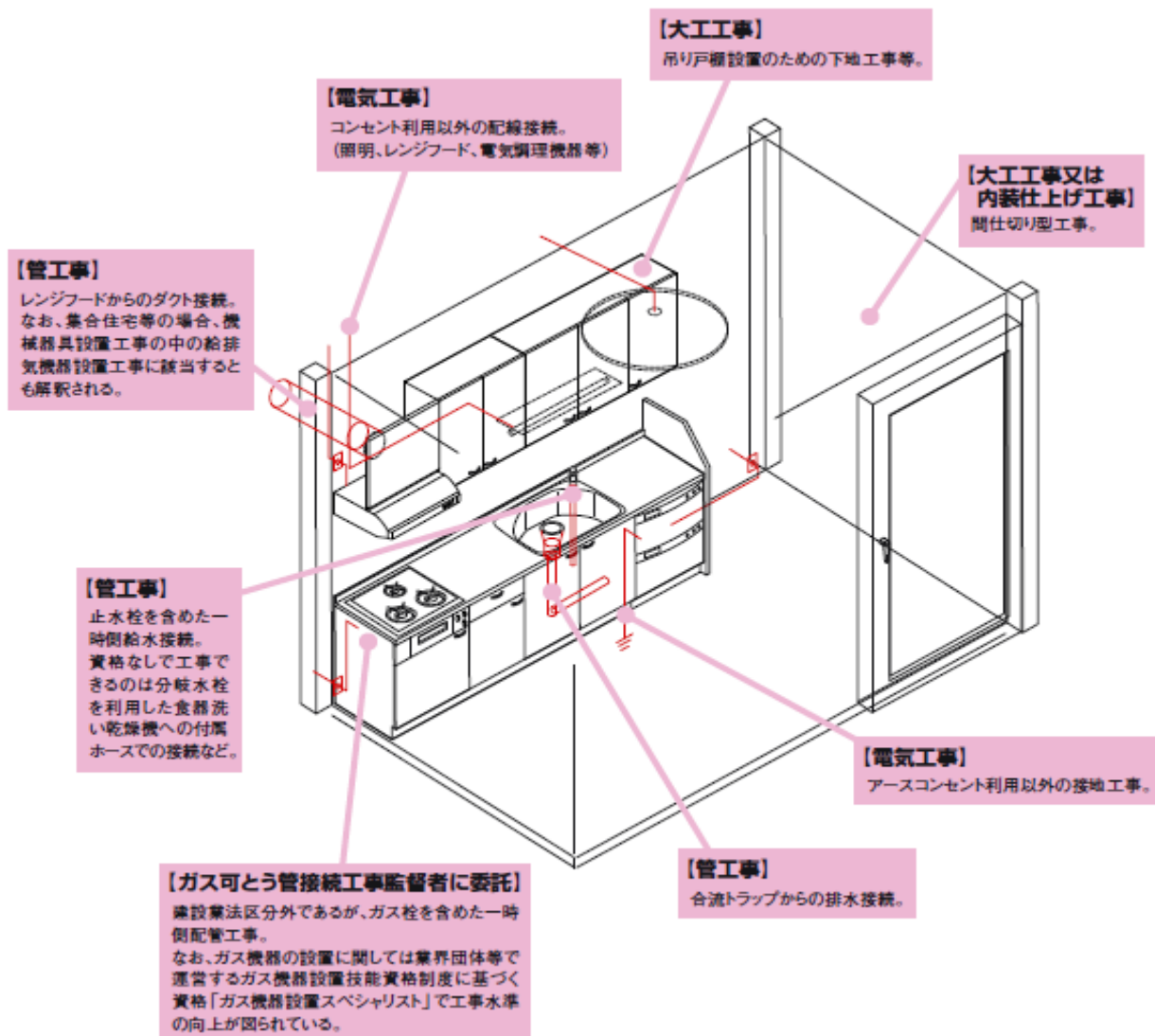
建築現場は、設計図や工程表どおりに進むべきですが、実際には天候や資材調達などの不確定な要素があるため予定通りに進まないことがあり、注意が必要です。

①システムキッチンの工事区分

※新築の場合を想定

ユニット工事区分	部位（図）	区分	作業名称(区分)	建設業区分			建設業外		作業内容
				大工工事業	管工事業	電気工事業	ガス設備	キッチン取付	
事前工事	1	大工 管	外壁の開口工事	○	○				レンジフードのダクト用の建築壁の穴あけ工事
			建築壁の下地処理工事	○					ｷｬﾋﾞﾈｯﾄ等の取付のための壁下地処理工事
			排気ダクトの関連工事		○	○			建築物の事前ダクト配管等の工事
			ｷｯﾁﾝﾊﾟﾈﾙ下地処理工事	○					ｷｯﾁﾝﾊﾟﾈﾙを貼る為の建築壁の下地処理工事
	2	電気	レンジフードの電源ｱｰｽ工事			○			建築の屋内配線と配線器具(ｺﾝｾﾝﾄ)工事
			IHヒーターの電源ｱｰｽ工事			○			IHヒーター専用200Vの事前電気工事
			ｳｫｰﾙｷｬﾋﾞﾈｯﾄの電気工事			○			屋内配線と配線器具（照明）接続、検査工事
			電動昇降機の電源工事			○			電動昇降機の専用電源・ｱｰｽ工事
			食器洗乾燥機の電源・ｱｰｽ工事			○			食器洗乾燥機用の専用電源・ｱｰｽ工事
	3	管	排水配管の立上工事		○				キッチン排水用の所定位置排水管立上工事
			給水・給湯配管立上工事		○				キッチン専用の所定位置配管立上工事
			食器洗乾燥機用給排水配管工事		○				食器洗乾燥機用の専用給水給湯排水事前工事
	4	ガス	ガス調理機器のガス配管				□		ガス機器用の事前ガス配管工事
キッチン本体取付設置	6	建設工事区分外	キッチンパネル取付					□	製品を加工して建築下地へ取付
			製品間のｼﾘｺﾝ充填					□	製品間の隙間を仕上げる処理作業
			レンジフードの取付					□	本体及び化粧パネルを取付る作業
			ｳｫｰﾙｷｬﾋﾞﾈｯﾄ取付					□	所定の建築仕上げ壁へ取付ける作業
			電動昇降ｳｫｰﾙｷｬﾋﾞﾈｯﾄ取付					□	電動昇降ｳｫｰﾙｷｬﾋﾞﾈｯﾄを壁へ取付る作業
			ﾍﾞｰｽｷｬﾋﾞﾈｯﾄ・天板の取付					□	天板、キャビネットの組立・調整して設置する作業
			キッチン排水部品の組立					□	排水トラップ部品とシンクの組立
			水栓の組立・天板取付					□	水栓、浄水器同梱部材の組立（天板への取付）
			ビルトイン機器の取付					□	ビルトイン機器のキッチン本体への組込作業
			試運転、完成品検査 （注記1）					□	完成後の試運転、性能確認検査
事後工事	2	電気	ｳｫｰﾙｷｬﾋﾞﾈｯﾄ照明器具工事			○			事前配線の電源線と照明器具の接続、検査
			電気配線器具の取付			○			スイッチ、コンセント等の電気配線工事
			レンジフードとダクト接続工事		○				建築ダクトとレンジフードの接続、検査
			その他電化機器の工事			○			電化機器と電源線、ｱｰｽの接続工事
	4	ガス	ガス調理機器のガス管接続				□		ガス機器とガス配管の配管接続工事
	5	管	給水・給湯配管と水栓の接続		○				給水・給湯の一次側と水栓の接続、検査
			給水・給湯配管とｵﾌﾟｼｮﾝ機器の接続		○				ｵﾌﾟｼｮﾝ機器と一次側給排水の接続、検査
			建築側排水管への接続工事		○				キッチン排水管と建築排水管の接続、検査

注記1） 製品の完成品検査、試運転は、事後工事完成後行う場合が多い。

② システムキッチンの工事区分　（続き）

③ 工程表　（例示）

工事工程表
CPS
基準工程日程
1 5 10 15 20 25 30 35 40 45 50 55 60
-84 -80 -75 -70 -65 -60 -55 -50 -45 -40 -35 -30 -25
仮設工事
仮設電気水道引込み
足場工事
土工事 コンクリート工事
整地、水盛、遣方
基礎工事
木工事
木材加工
屋根下地工事
筋違い間柱工事
敷居、鴨居工事
間仕切壁工事
ラス下地工事
床工事
大引、根太工事
屋根工事
屋根葺き工事
防水工事
防水工事
金属工事
屋根板金工事
水切り霧除け
建具工事
サッシ取付工事
左官工事
防水下地、ラス張り
衛生設備工事
外部・給排水工事
内部給排水、ガス配管工事
電気設備工事
コンセント・スイッチ位置打合せ
防蟻防虫工事
住宅設備工事
SBR取付
特記事項
・地鎮祭
・SBR打合せ
・上棟式
・システムキッチン、洗面台
最終打合せ
CPS
基準工程日程
61 65 70 75 80 85 90 95 100 105 110 115 120
-24 -20 -15 -10 -5 0 5 10 15 20 25 30 35
仮設工事
足場解体
クリーニング
タイル工事
雑工事、手直し
木工事
造作工事
木枠工事
階段工事
ボード張り
金属工事
雨ドイ工事
木製建具工事
寸法取り
建具取付け
鋼製建具工事
調整
防水工事
防水仕上げ
左官工事
外部下塗り
内部下塗り
外部上塗り
内部上塗り
内部タイル工事、外部タイル工事
塗装工事
外部吹付工事
内部塗装
内装工事
タタミ寸法取り
クロス下地
内装クロス工事
タタミ取付
衛生設備工事
設備器具取付、外部接続、ガス工事
電気設備工事
内部配線工事
照明取付、外部工事
住宅設備工事
システムキッチン、洗面台取付
特記事項
・竣工検査
引渡し・

（３） 搬入路の確認

１）現場地図による搬入路の確認

車両の大きさをふまえ、現場までどれくらい近くまで進入可能か確認をしてください。

２）製品搬入方法の確認

階上揚げの場合に、階段使用となるのか、エレベーター使用となるのか、あるいは別途、揚重機(クレーン)等を使用する必要があるのか確認してください。
特に、ワークトップ等、長い製品の寸法との関係が重要となります。

（４） 同梱書類の取扱に関する確認

１）取扱説明書、保証書、所有者票（所有者登録用)、取付・設置説明書等の取扱について

製品に同梱されている取扱説明書等の書類は、お客様に渡す大切な書類です。
保管場所、引渡しの方法等について確認してください。また、取付・設置説明書等使用後どのように処理をするか、相談してください。

（５） その他、関連事項の確認

１）搬入、取付・設置の日時

工事工程表に合わせて、搬入、取付・設置の日時を確認してください。
現場の進捗状況と、荷受作業の工程を精査してください。現場の希望工期と作業予定日程が合致するかどうか、事前工事、事後工事との影響などを協議してください。

２）残材・廃材の処理方法

廃棄物処理にあたっては、廃棄物処理法（廃棄物処理及び清掃に関する法律）に従って処理することになっています。
処理は、元請業者が行うことになっています。処分を請け負うことはできませんが、材質ごとに分別し、指示に従い、「現場の廃棄物一次保管場所」においてください。

主な廃棄物とその分別方法を列記します。これは一例であり、実際は、自治体の取り決め、建築現場管理者の指導に従ってください。

①廃棄物の分別 （例示）

木屑	扉、キャビネット、垂木、ベニア板
廃プラスチック類	発泡スチロール、ＰＰバンド、エアパッキン、ビニール袋、プラスチック板
金属屑	空き缶、金属材（ねじ、釘、アルミ箔を含む）

ガラス屑　陶磁器屑	壁パネル、陶器ボウル、人造大理石
紙屑	ダンボール、養生紙

３）ディスポーザーの設置

ディスポーザーの設置、維持には、各市町村の下水道局等の設置基準、及び維持基準に従い対応をしてください。

４　事前現場チェック

（１）　躯体構造の確認

システムキッチンの取付・設置にあたっては、多くのキャビネットで構成されていますので、建築の水平、垂直の精度、また、設備設計図に基づいた給水・排水管、ガス配管、電気配線、キャビネット取付用下地等の位置と仕様が正しくできていないと安全な取付･設置ができません。事前現場確認の結果、不具合が生じた場合は、建築現場管理者に、不具合箇所を説明し、修正・手直しの依頼をしてください。

１）床面・壁面の水平・垂直レベル、強度、仕上げ状態の確認

水平基準線（墨)、壁の仕上げ厚や壁芯位置

天井高さ、床のレベル、下地の不陸、廻り縁、梁、窓、巾木寸法

２）取付用下地等の位置と仕様の確認

キャビネット取付部の下地位置と材質、および内部状況（配管、配線有無）

レンジフードの取付下地位置と材質、壁開口寸法

壁面および天井は関連する法令・規定に準じ不燃材が使用されていることの確認

３）躯体と製品の干渉の確認

可動品（引出開閉、扉開閉、脱着部品、上下昇降等）の移動範囲を想定し、躯体干渉の有無

４）給水、給湯、排水管の位置と仕様の確認

水栓金具、食器洗い洗浄器、食器乾燥機、アルカリイオン整水器の給水、給湯、排水管の位置

５）ガス配管の位置と仕様の確認

燃焼機器のガス配管の位置とガス種

６）電気配線の位置と仕様の確認

食器洗い乾燥機、足元暖房機、アイレベル機器、ガスコンロ（１００Ｖタイプ）電子レンジ、電磁調理機器、手元灯、レンジフード、電動昇降吊り戸棚、給湯器のリモコンボックス、アルカリイオン整水器の電源及びアース取り出しの位置、電源仕様（１００Ｖ、２００Ｖ）

（２） 商品搬入経路と仮置き場所の確認

商品を設置場所までどのような経路で搬入するか、特にエレベーターを使用する場合は、注意が必要です。また、仮置きの場所とスペースを確認してください。

１）荷降ろしの場所を確認してください。必要なら建築現場管理者の意見を聞いてください。また、当日が雨だったときのことも想定してください。
２）商品を車から降ろした位置から現場の部屋までの搬入路を、階段や廊下を含めて確認してください。天板などの長尺物や大きなキャビネットを振りまわすに十分な空間がないと商品を部屋へ入れられません。
３）最大のキャビネット寸法や、天板などの長尺物振りまわしなどを考慮して荷受が予定の人数で可能かどうか確認をしてください。キッチン関連機器には１梱包で100kg を越えるものもあります。
４）現場が日常的に施錠されている場合、鍵の管理方法を確認してください。
５）現場の荷受工程とシステムキッチンの荷受工程が重なって、仮置き場所やエレベーターを取り合うことがないように確認してください。

（３） 作業電源の確保

取付・設置作業には電源が必要となりますので、電源の位置を確認してください。
必要な用水や電力の使用の許可を得てください。
一般的な新築工事の場合、仮設用水や仮設電力は、元請業者の準備となります。

（４） 取付・設置日の確認

建築工事の進行具合によって、遅れが生じる場合がありますので確認してください。

（５） 必要な道具、工具、部材の確認

個々の商品の取付・設置説明書を確認し、事前に準備が必要です。
商品によっては、専用の道具が必要な場合があります。人造大理石やステンレスワークトップ表面に穴あけをする場合には、専用のホルソーが必要になります。水栓の取付や排水金具の締め付けなどには、専用の工具が必要な場合があります。専用工具がないと見た目が悪くなるばかりか、作業が空振りとなって現場にも迷惑を
かけることになりかねません。 「７　取付・設置準備（２）工具の準備　」を参照してください。

５　搬入

（１） 搬入路の養生

搬入にあたっては、他の建材や建具、搬入路の床、壁、その他エレベーター庫内などを傷つけないよう搬入路を養生してください。

（２） 荷受

部材・商品リストと照らし合わせ、荷受をしてください。また、不備があった際には、内容に応じて、メーカーの販売窓口もしくは、元請業者に連絡してください。

１）傷や欠品の有無を納品業者と確認してください。
２）商品が図面と同一であること、注文の色であること、副資材が過不足なく同梱されていること、個数などを確認してください。
３）キャビネットの中に棚板などが同梱されている場合、キャビネットを不用意に回転させると、部品や棚板がなかで暴れてキャビネット内部を傷つける場合があるので注意してください。地面などに商品を仮置きする場合、必ず、ブルーシートやダンボールなどの養生材を敷いてください。
また、商品に傷がつかないように、天地左右方向についての確認をしてください。
４）電気機器類は開梱前に、商品ラベルなどから電源の周波数（50HZ・60HZ）電圧（100V・200V）を確認してください。周波数が、共用のもの、あるいは切り替えて対応できるものについては、作業時に必ず、周波数が合致していることを確認してください。

（３） 仮置き場所への商品の保管

事前に打ち合わせで指定された場所を確認のうえ、他の工事の作業や、通行に支障のない場所に、転倒や落下などにより破損が生じないよう保管してください。

6 開梱・商品チェック

（１） 開梱

商品や躯体を傷つけないよう丁重に行ってください。
刃先の長い刃物は、商品外観だけでなく、見えない部分（配線、ホース等）への損傷につながりますので、使用しないでください。また、扉・引出等の開閉するものは、全開時に転倒の恐れがありますので注意が必要です。

（２） 部材数・部品番号の確認

商品の表示と中身、数量の整合確認をしてください。

（３） 商品の破損の確認

商品の外観を確認をしてください。梱包材に異常がない場合でも、損傷がある場合があります。

（４） 同梱部品の確認

それぞれの商品に同梱されている部品リストに基づいて確認してください。

①同梱部品リスト　（例示）

取扱説明書（保証書付） 取付設置説明書		連結ねじ φ4×28	壁取付ねじ φ4.5×55	接合剤	スペーサー	ステンレスカウンター用
お客様用	取付設置業者様用			（箱入り）	90×40×t1	
取付設置業者様用 お客様用		キャビネット接続用 （キャップ付）	ウォール キャビネット 壁固定用	人大カウンター L型接合用 カウンター色対応	L型人大 カウンター 浮き防止用	カウンター固定用 φ4×10 トラスタッピンねじ付
各１部 シンクキャビネットに同梱		３ヶ／袋 各キャビネット に同梱	4ヶ/袋 (隅キャビネットは8ヶ/袋) ウォールキャビネットに同梱	１箱　人大カウンターL型 タイプに同梱	６枚 コーナーキャビネットに同梱	I型及びL型一体： 5ヶ/袋 カウンターに同梱

（５）　梱包材の整理

梱包材は、他の作業に支障がないように整理してまとめておいてください。

7　取付・設置準備

（１）　修正依頼事項の再確認

事前に現場チェックした時に修正を依頼した箇所が、指示どおりになっているか確認してください。

（２）　工具の準備

取付・設置にあたっては、用途に応じてさまざまな工具が必要となります。
不足がないか確認してください。

①工具・用具一覧　（例示）

	工　具　名	主　用　途
1	筆記用具	
2	スケール（メジャー）	
3	脚立	
4	水準器・レーザー水準器	
5	下げ振り	垂直墨出し用
6	水盛りホース レーザー水準器	水平墨出し用
7	墨つぼ	基準墨出し、取付位置墨出し用
8	三角定規	
9	差し金（曲尺）	
10	ドラム延長コード	
11	カッター	
12	六角レンチ	
13	ドライバー（各種）	
14	電動ドライバー ドリル刃（各種）	
15	ホルソー	止水栓（給水給湯管）・ガス管取り出し穴用
16	かなづち（ハンマー）	
17	のみ	
18	のこぎり	サイドパネル、幕板（支輪）、間口調整フィラー切断用
19	金切りノコ	
20	電動丸ノコ	
21	ジクソー	
22	かんな	幕板（支輪）小口仕上げ用
23	ペンチ	
24	プライヤー	
25	スパナ一式	
26	モンキースパナ	
27	自在キリ	
28	万力	
29	排水トラップ据付工具	
30	水栓据付工具	
31	マスキングテープ	
32	コーキングガン	
33	エポキシ系接着材	
34	速乾性ボンド	
35	サンドペーパー	
36	電動サンダー	
37	スクレイパー	人造大理石接続仕上げ用
38	アルコール	
39	ウエス	
40	養生用エアーキャップ	
41	掃除用具	
42	上履き	

（３） 墨出し

１）基準墨出し

① 直角三角形の原理（または、差し金など）を利用して直角をだし、床に仮墨を打ちます。

② レーザー水準器や水盛りホースを用いて、壁に水平基準線を墨出しします。

③ レーザー水準器や下げ振りを用いて、壁に垂直基準線を墨出しします。

④ １ｍ程度の間隔で下げ振りを下ろし、下げ振りから壁までの寸法を測定し、最も突きだした部分を探しだします。

２）取付用墨だし

① 床面の一番高い位置を基準に、フロアーキャビネットの上端、ウォールキャビネットの下端（または上端）の位置に墨出しします。また、設置する個々のユニット外形に合わせて墨出しをしておくと設置がしやすくなります。

＊ 床の仕上げは、システムキッチンを取付る前に完了していることが原則です。

② 墨出し終了後、排気口、窓枠など高い精度を要求される寸法を再度チェックします。

８ キッチン 取付・設置

各作業の詳細は、商品に同梱されている取付・設置説明書に従ってください。

（１）キャビネット類の取付・設置

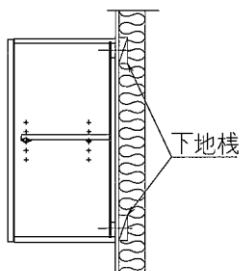
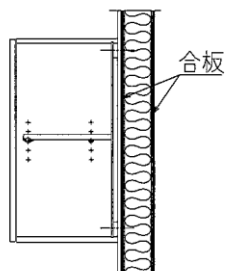
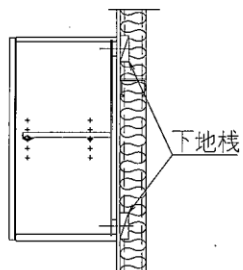
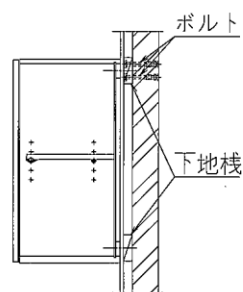
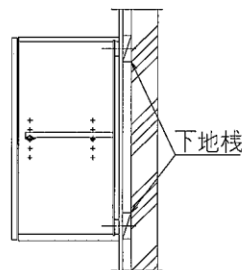
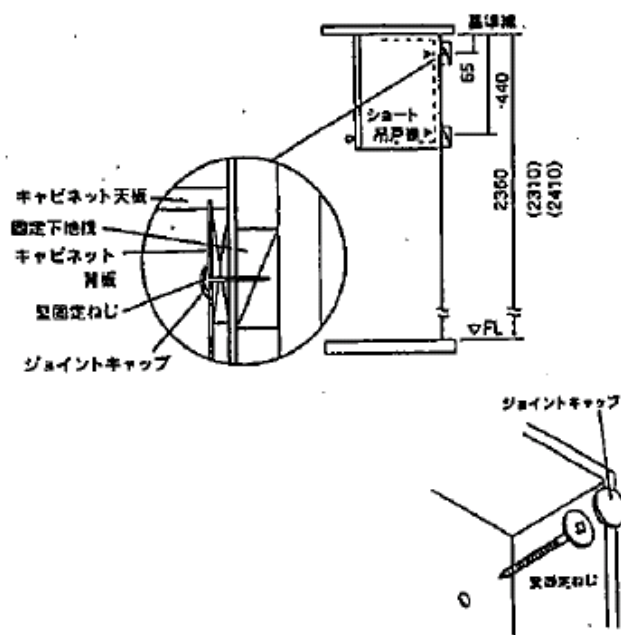
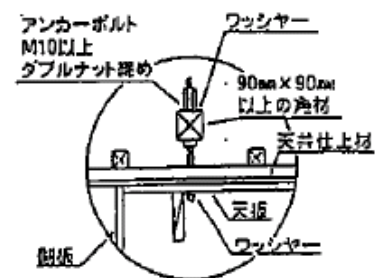
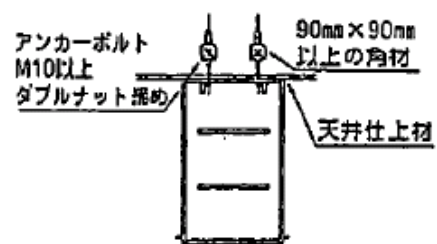
１）ウォールキャビネットの取付

壁に固定するネジが打てる範囲は、下地桟（補強桟）、下地合板等、ネジが確実に固定できる部分に限られますので、事前に確認したとおりの位置に取付てください。固定のネジは、取付・設置説明書に記載の専用のものを使用してください。

また、下地への下穴加工、キャビネットへの貫通穴加工が必要な場合があります。詳細は、商品に同梱されている取付・設置説明書に従ってください。

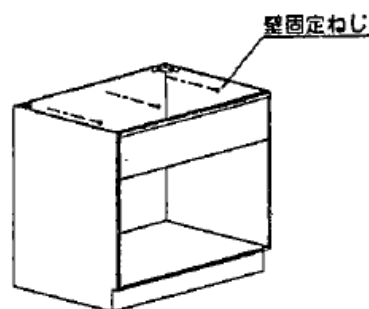
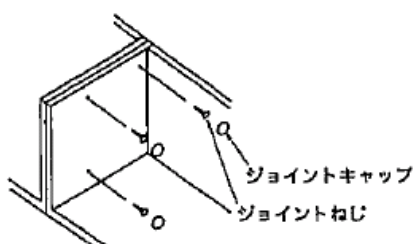
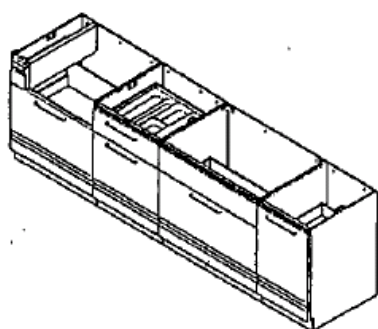
壁に取付る方法が一般的ですが、天井からアンカーボルト（吊りボルト）で吊る方法もあります。アンカーボルトや袋ナットの材質が規定されている場合は、図面の仕様に従ってください。

お客様の実際の使用に際して、荷重のほとんどが上部の固定ネジに集中するため、特に下地に対して有効に効いているかどうかを確認してください。

①取付例　（例示）

②取付例（例示　表示寸法は参考）

２）フロアーキャビネットの設置

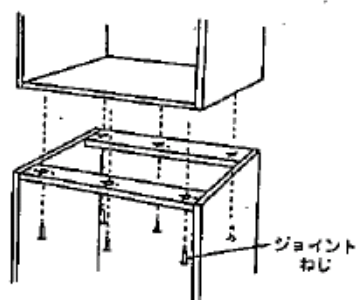
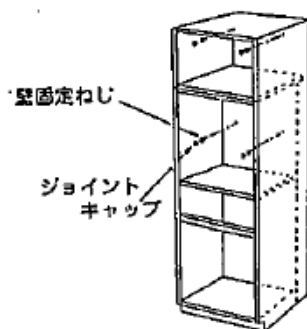
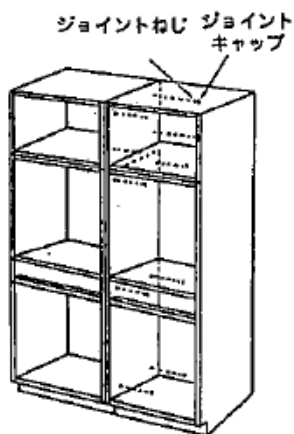
シンク用、加熱調理機器用、ビルトイン機器用、一般収納用など様々なキャビネットのバリエーションがあります。キャビネットを仮設置して、出来上がりや総幅寸法を確認してから連結固定してください。また、取付・設置説明書の指示に応じて、必要な場合には、床への固定をしてください。

連結・固定ネジをとめる位置は、取付・設置説明書を確認してください。

①固定方法　（例示）

３）トールキャビネットの設置

カップボード、食器棚、食品庫、ビルトイン機器用、ユーティリティー用など様々なバリエーションがあります。そのほかに、ダイニングとキッチンの仕切り用のキャビネットや、ハッチキャビネットなどがあります。

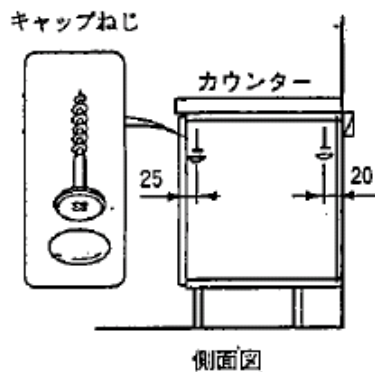
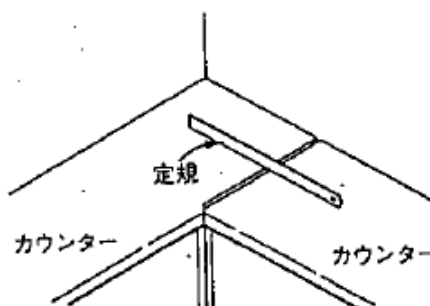
また、フロアーキャビネット、ミドルキャビネット、アッパーキャビネットを連結する場合もあります。取付・設置説明書に従って設置してください。

①固定方法　（例示）

（２）ワークトップの設置

形状や素材はさまざまあります。一般的には、ステンレス、人造大理石に代表されますが、天然石（主として花崗岩）メラミン化粧板、集成材、無垢板、タイルなどが素材として用いられます。それぞれ、設置方法も異なります。設置後の不具合発生を防ぐために、固定や接合、穴あけ加工、躯体との隙間処理は、同梱の取付・設置説明書の指示に従って行ってください。

Ｌ字型やＵ字型の場合は、固定する前に、仮置きした状態で水平かどうか、定規などで段差がないことを確認してください。

また、ステンレスの切断面（シンク穴等）に素手でさわると、けがをする恐れがあります。保護手袋を着用のうえ作業してください。

①固定方法　（例示）

（３）水栓、排水トラップ、排水ホースの取付

水栓の取付は、取付・設置説明書を確認し、ぐらつきのないよう確実に固定をしてください。また、取付には、専用の部品や、工具が必要な場合があります。

排水トラップの取付は、取付・設置説明書を確認し、付属の部品を使用して指示どおりに固定してください。水漏れ防止のために、パッキンは、はみだしがないように取付してください。また、ナット部は、過度の締めすぎや、グリスは使用しないようにしてください。割れにつながります。

キャビネットに給排水、その他の配管用の穴をあける場合、取付・設置説明書に従って正しい場所にあけてください。

給排水接続工事などの後工事に必要となる防臭ゴム等の部品は、袋などにひとまとめにしてキャビネット内に養生テープ等で固定してください。

給排水接続工事等、管工事は、「（９）配管・配線の接続　」を参照してください。

（４） ビルトイン調理機器の設置

１）ガス調理機器の設置

ガス調理機器の銘板表示と供給ガスの種類が適合しているか、必ず確認してください。

固定は、取付・設置説明書を確認し、ぐらつきのないよう確実にしてください。また、パッキンシールは、隙間が発生する原因になりますので、ねじれ等がないように取付をしてください。

電気電源のガス調理機器の場合は、銘板表示と使用電源（100V・200V）が適合しているか、必ず確認した上で、所定の位置にある電源コンセントに、電源プラグを差し込んでください。また、消費電力の銘板表示を確認した上で、専用回路になっているか確認してください。

乾電池電源のガス機器の場合は、取付・設置説明書に従い、同梱の乾電池を取付てください。

ガス機器のガス配管接続工事や電気配線工事は、「（９）配管・配線の接続 」を参照してください。

２） ＩＨ調理機器の設置

銘板表示と使用電源（100V・200V）が適合しているか、必ず確認した上で、所定の位置にある電源コンセントに、電源プラグを差し込んでください。また、専用回路になっているか確認してください。

電気配線工事は、「（９）配管・配線の接続 」を参照してください。

（５） 食器洗い乾燥機の設置

機器の設置は、取付・設置説明書に従い、転倒防止金具か天板への固定を確実に行ってください。扉パネルが入るタイプの場合、パネルは指定のものを取付てください。ドアの開閉の際、他の機器や、躯体への干渉がないか確認してください。給水、排水管は、押しつぶされたり、無理に折れ曲がったりしていないか確認してください。

接続できる給湯器には制限があります。給湯器そのものが工事範囲にない場合でも、取付・設置説明書などに記載してある、給湯器制限の部分を建築管理者に伝えてください。

銘板表示と使用電源（100V・200V）が適合して、専用回路となっているか確認してください。

この機器は消安法で指定された「特定保守製品」であり、所有者に対して点検期間中に点検を行うことが必要であること、製造事業者に対し所有者登録の必要があることを、お客様に伝える必要があります。設置事業者として協力する責務があり、同梱されている所有者票は、あらかじめ決めた方法でお客様に渡るようにしてください。

給排水接続工事、電気配線工事は、「（９）配管・配線の接続」を参照してください。

（6） レンジフードの設置

同梱の取付・設置説明書に従って、正しく設置してください。

壁に固定するネジが打てる範囲は、下地桟（補強桟）、下地合板等、ネジが確実に固定できるがある部分に限られますので、事前に確認したとおりの位置に取付てください。固定のネジは、取付・設置説明書に記載の専用のものを使用してください。

また、壁面および天井は、関連する法規・規定に準じ、不燃材が使用されているか確認してください。

コンセントが所定の位置にある場合は、コンセントにプラグを差し込んで、ファンの回転と、照明の点灯を確認してください。電球は運搬中などに緩んでいる可能性がありますので、テストで点灯した場合でも蓋をあけて電球がしっかりと固定されていることを確認してください。確認後は電源プラグを抜いておいてください。

直接配線に接続する場合は有資格者が行ってください。ダクトとレンジフードの接続等の管工事は、「（9）配管・配線の接続　」を参照してください。

（7） 調整部品・周辺部材の取付

調整部品には、台輪、幅木、幕板（支輪）、フィラーなどがあり、周辺部材としては、キッチンパネルやサイドパネル・エンドパネルがあります。取付・設置説明書に従って、正しく取付てください。

キッチンパネルおよび、付属の部品の切断、穴あけには、専用の工具が必要となります。取付・設置説明書の指示に従ってください。

（8） オプション・ビルトイン機器類の設置

同梱の取付・設置説明書に従って、正しく設置してください。

1）照明器具

ウォールキャビネット下部に配線を通して取付るタイプの場合、通線に気をつけてください。

引く方に力が入りすぎると製品本体が破損することがあります。ケーブルを押しながら静かに通してください。

2）電子レンジ・電気オーブン・ガスオーブン

3）足元温風機

キャビネット巾木（台輪）部分の切り欠き部分の寸法を穴あけ前にご確認ください。

4）冷蔵庫

5）その他の機能部品

ディスポーザー、浄水器、清水器、米ビツ、などについての

不明な点は必ず事前に販売担当窓口に問い合わせください。

（9） 配管・配線の接続

給排水接続工事・電気配線接続工事・ガス接続工事・ダクト接続工事は、関連法規に従って必ず「有資格者」が行ってください。「有資格者」以外が行うと違法行為になります。

9　各部の調整

（1）　扉・引出しの調整及び棚板の固定確認

取付・設置説明書の指示に従って、扉や引出しのがたつき、ゆるみ、傾きの調整をし、開閉がスムーズであるか確認してください。

開放ロック機構部品が装備されているものは、指示に従い調整を実施してください。

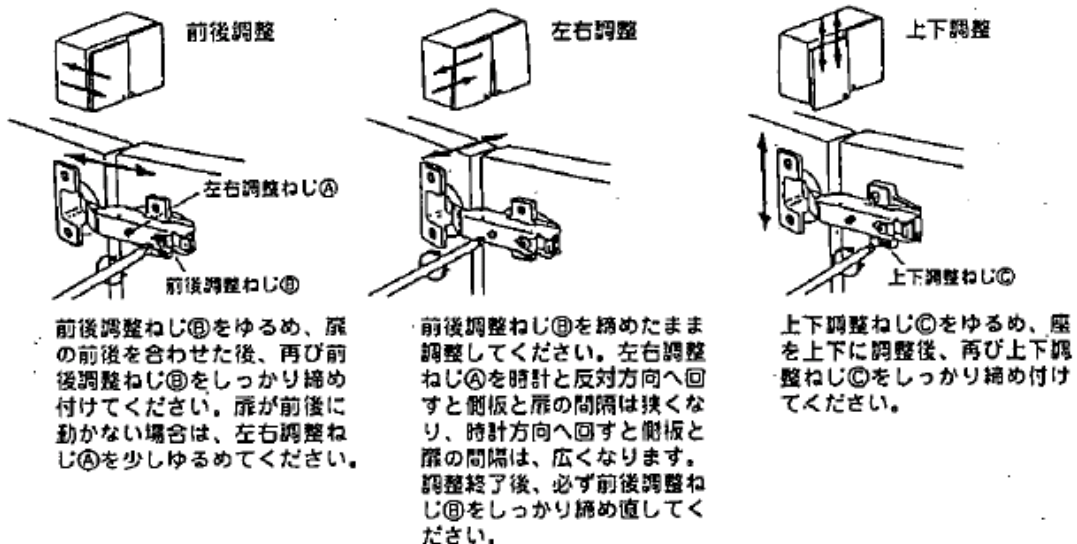
棚板の取付は、付属の棚受を奥まで確実に差し込み、棚板固定の際にがたつきがないようにしてください。また、棚板の角でキャビネットを傷つけないように注意してください。

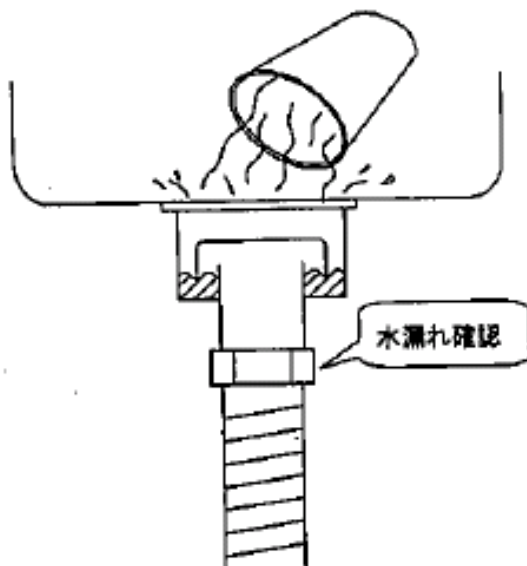
①扉の調整方法　（例示）

扉の調整例

前後調整ねじⒷをゆるめ、扉の前後を合わせた後、再び前後調整ねじⒷをしっかり締め付けてください。扉が前後に動かない場合は、左右調整ねじⒶを少しゆるめてください。

前後調整ねじⒷを締めたまま調整してください。左右調整ねじⒶを時計と反対方向へ回すと側板と扉の間隔は狭くなり、時計方向へ回すと側板と扉の間隔は、広くなります。調整終了後、必ず前後調整ねじⒷをしっかり締め直してください。

上下調整ねじⒸをゆるめ、扉を上下に調整後、再び上下調整ねじⒸをしっかり締め付けてください。

（２）水漏れの確認

　排水設備取付後、排水ホースの先端をビニールとテープなどでしっかりと止め、シンクに水を満たしてから、排水設備の接合部から水漏れがないことを確認してください。仮止めホースが外れて、床が水で濡れないよう十分に注意をしてください。また、確認後は、シンクおよび周辺部の水滴を拭き取ってください。水垢の原因となります。

１０　取付・設置作業の完了確認

取付・設置完了後、チェックリスト等を使用して、仕上がりの確認や試運転をしてください。

①チェックリスト（例示）

項目	No	チェック項目	チェック
建物のおさまり及び全体感	1	取付設置図どおりに取付けされているか。	
	2	窓とウォール部のおさまりは良いか。	
	3	棚板・オプション品等は指示どおりか。	
	4	引出しのチリ・スキ・動きは良いか。	
	5	幕板は完全に固定されているか。	
	6	幕板のスキマ・段差・継ぎ目は良いか。	
箱	1	ウォールキャビネットは壁にしっかり固定されており、ガタツキはないか。	
	2	箱と箱の連結はすべて行なっているか。	
	3	箱の上・下・前後は揃っているか。	
	4	箱側板のキャップはつけてあるか。	
扉（引戸）	1	上下・左右のバランスは良いか。	
	2	開閉時、丁番のキシミ音はないか。	
	3	防虫パッキンのコスレ、ハガレはないか。	
	4	丁番の止めねじの増締めは完全か。	
	5	アッパーロックは作動しているか。	
シンク水まわり	1	シンクを満水にして水漏れはないか。	
	2	排水装置に水漏れはないか。	
	3	排水管へのつなぎ・シーリングは確実か。	
カウンター	1	カウンターと箱の位置ずれはないか。	
	2	接続部分のスキ・段差はないか。	
	3	バックガードと壁とのシーリングは完全か。	
	4	カウンターと化粧サイドパネルとのシーリングは完全か。	
	5	表面にキズ・ワレ・変色はないか。	
照明	1	照明の点灯確認。	
キッチンパネル	1	固定は確実か。浮きはないか。	
	2	コーキングは確実か。	
家電ストッカー	1	電源コンセントに電気は通じているか。	
	2	ファン電源スイッチは作動するか。	

項目	No	チェック項目	チェック
ガス機器	1	組込み基準は守られているか。	
	2	点火状態は良いか。（ガス開栓の時は火花の飛びをチェック）	
	3	付属部品はそろっているか。	
レンジフード	1	煙の吸い込み状態は正常か。	
	2	シャッターの開閉は正常か。	
	3	異常音はないか。	
	4	指を切傷するようなバリはないか。	
水栓金具	1	カウンターとの固定はしっかりされており、ガタはないか。	
	2	給水・給湯の接続部からの水漏れはないか。	
冷蔵庫	1	電源コンセントにプラグが差し込んであるか。（100V・アース工事）	
	2	室内灯の点灯及びコンプレッサーの作動確認。	
食器洗い乾燥機	1	電源コンセントにプラグが差し込んであるか。（100V・15A・アース工事）	
	2	「洗い」の位置で運転は正常か。排水は正常か。	
	3	接続部の水漏れはないか。	
関連機器その他	1	名称・型式の確認	
	2	組込み状態は良いか。固定は確実か。	
	3	電源のつなぎは良いか。スイッチのON、OFFは良いか。	
	4	給水・排水の接続部の水漏れはないか。	
	5	網カゴ類にバリはないか。	
手入れ	1	カウンターの清掃は良いか。	
	2	扉の表面の汚れはないか。	
	3	箱・引出し内の汚れはないか。	
その他	1	取扱説明書（保証書付）はあるか。	
	2	養生は大丈夫か。	

１１　クリーニング・養生

（１）キッチン本体の汚れ等の除去

取付・設置完了後の清掃には中性洗剤を使用し、やわらかい布（ウエス）でふき取ってください。シンナー・アルコールなどの溶剤、または研磨剤入り洗剤は使用しないでください。光沢をなくしたり変色したりして、表面を傷めます。

ワークトップやシンク内ごみ、金属粉等がある場合は、完全に除去してください。放置すると、もらい錆びや、ひどい付着の原因となります。

（２）後工事に対する養生実施

取付・設置終了後、内装仕上げ工事（タイル工事など）などの後工事がある場合はキャビネットやワークトップの梱包材を利用して、汚れ、傷がつかないように養生を行ってください。接着テープを使用して養生を行う場合はユニットなどの商品の表面にテープ糊面が直接つかないようにしてください。商品の表面に糊面がつきますと悪影響を及ぼす恐れがあります。

排水トラップの封水を確保する、または排水管下流からの通気を遮断する対策をおこなってください。蒸発防止のため排水口を、止水蓋やラップ等で塞いでください。排水管から腐食性のガスが逆流し、シンクなどが錆びることがあります。

給排水接続工事・電気配線接続工事・ガス接続工事・ダクト接続工事が未完了であることを、商品へ貼紙で示すことも、必要に応じて実施してください。

なお、養生作業にあたっては、電源やガスの元を切っていること、水栓が閉まっていることを確認してください。
また、床や他の商品に傷をつけないよう注意して行ってください。

１２　残材・廃棄物の処理

（１）現場清掃

作業終了後の現場は、きれいに清掃してください。釘やネジなどは、床を傷つける恐れがあります。

（２）廃棄物の搬出・処理

残材・廃材処理の分担、方法は事前に打ち合わせた方法で行ってください。

１３　設備関連業者による接続及び試運転

（１）機能機器類の試運転

給排水接続工事・電気配線接続工事・ガス接続工事・ダクト接続工事が完了していることを確認のうえ、同梱の取扱説明書に基づいて試運転を実施し、水漏れ、ガス漏れ、漏電やその他の異常がなく、確実に作動することを確認してください。

１４　最終確認

引渡し前に、仕上がりをチェックリストに基づいて総点検をしてください。

①最終仕上げチェックリスト（例示）

物件名		物件No.			
取付･設置店名		取付･設置担当		検査者	
品番		取付･設置日		検査日	

検査項目	検査結果	備考
1. 全体	合格 ・ 不合格	
①取付･設置指示図どおりか	合格 ・ 不合格	
②ドア枠･窓との納まりはよいか	合格 ・ 不合格	
③割れ･欠け･傷はないか	合格 ・ 不合格	
④汚れ･変色はないか	合格 ・ 不合格	
⑤欠品なないか	合格 ・ 不合格	
2. キャビネット	合格 ・ 不合格	
①壁固定は確実か	合格 ・ 不合格	
②連結固定は確実か	合格 ・ 不合格	
3. 扉･引出	合格 ・ 不合格	
①上下左右の調整はよいか	合格 ・ 不合格	
②開閉はよいか	合格 ・ 不合格	
③パッキンのこすれ、はがれはないか	合格 ・ 不合格	
④ロック機構部品の作動はよいか	合格 ・ 不合格	
⑤丁番･取手のゆるみはないか	合格 ・ 不合格	
⑥引出レールと本体は確実にセットされているか	合格 ・ 不合格	
4. ワークトップ･シンク	合格 ・ 不合格	
①割れ･欠け･傷はないか	合格 ・ 不合格	
②汚れ･変色はないか	合格 ・ 不合格	
③浮き･スキはないか	合格 ・ 不合格	
④水平レベルはよいか	合格 ・ 不合格	
⑤シーリングは確実か	合格 ・ 不合格	
5. キッチンパネル	合格 ・ 不合格	
①割れ･欠け･傷はないか	合格 ・ 不合格	
②汚れ･変色はないか	合格 ・ 不合格	
③浮き･スキはないか	合格 ・ 不合格	
④シーリングは確実か	合格 ・ 不合格	
6. 水栓金具･浄水器	合格 ・ 不合格	
①固定は確実か	合格 ・ 不合格	
7. 機器	合格 ・ 不合格	
①固定は確実か	合格 ・ 不合格	
②電源接続はよいか	合格 ・ 不合格	
8. その他	合格 ・ 不合格	
①取扱説明書は所定の位置に保管しているか	合格 ・ 不合格	
②ゴミ･不要物はないか	合格 ・ 不合格	
③養生はよいか	合格 ・ 不合格	

１５　完了報告・施主検査

（１）お客様、元請業者への完了報告

　事前に取り決めた方法、手続きで完了報告を行ってください。
完了報告の際、確認書を取り交わしておくと引渡し時のトラブルを防ぐことができます。

（２）所定書類の整備と引渡し

　取扱説明書、保証書、所有者票（所有者登録用）は、お客様の手元に確実に渡るよう、事前に取り決めた方法で書類を引渡してください。
使用者の安全を守るために、そして責任の範囲を明確にするためにも必ず実行してください。

１６　関連法規

　キッチン取付・設置において関係する法規は、建築基準法・消防法・水道法・電気事業法・ガス事業法・廃棄物処理法・労働安全法・建設業法等、があります。
内容に関しましては、以下リンク先を確認してください。

リンク先：キッチン・バス工業会　　住宅設備に関係する法令等一覧
http://www.kitchen-bath.jp/public/hourei/houreitop.html

システムキッチン　標準設置マニュアル

発行日　　平成２３年６月１日
編　集　　キッチン技術委員会
　　　　　標準設置マニュアル策定WG
発行　　　キッチン・バス工業会

〒１０５－００１２
東京都港区芝大門１－４－９
　　　　　　　　大門ビル３Ｆ
ＴＥＬ　　０３－３４３６－６４５３
ＦＡＸ　　０３－３４３６－６４５４
Ｅ－mail　　kitchen.bath@nifty.com
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ　　http://www.kitchen-bath.jp//